

第6回湯河原文学賞“小説の部”は 「^{はるの}春野 ^{けい}京さん作『夫婦の情景』」に決定!

企画課 内線233

平成18年7月1日から11月30日まで、トラベルミステリー、サスペンス、ホラー、恋愛など、現代を舞台にしたエンターテインメント小説を募集し、全国から114編の応募をいただきました。

選考の結果、最終候補作品4編の中から、次の作品を最優秀賞として決定しました。
多数のご応募ありがとうございました。

【最優秀作品】

『夫婦の情景』

^{はるの}春野 ^{けい}京さん

(東京都町田市)



(あらすじ)

主人公(50代女性)の立場から見た両親(老夫婦)の姿を、主人公とその両親の過去を振り返りながら、現在の主人公の状況・心情を書いた作品。

春野 京さんには、賞状及び賞金50万円が贈呈されました。また、雑誌『小説NON』6月号(5月22日発売・祥伝社刊)に掲載される予定です。



【最優秀作品表彰式】右から、作家西村京太郎氏、受賞者の春野 京さん、小石川文枝実行委員会委員長・米岡幸男町長(3月7日・役場特別会議室)

【最終候補作品】

『こっくりさん』 山 岸 恵 一 さん(神奈川県横須賀市)

『蛍島 行き止まりの道』 清 原 つる代 さん(沖縄県糸満市)

『ナイチンゲールの季節』 井 上 朝 子 さん(埼玉県さいたま市)



『湯河原文学賞アンソロジー』が発売されました。

第1回～第5回までの湯河原文学賞小説の部最優秀賞及び特別賞に選ばれた作品を集めた、『湯河原文学賞アンソロジー』(祥伝社刊)が発売されました。ご興味のある方はぜひお読みください。なお、この本は町立図書館(☎63-4155)で貸出しをしています。